

第80回 鈴木鎮一記念館コンサート

東 誠三・三浦章宏・野村朋亨 トリオ



ピアノ
東 誠三



ヴァイオリン
三浦章宏



チェロ
野村朋亨

■モーツァルト:ピアノトリオ ト長調 K.564

■シューベルト:ピアノトリオ 第1番 変ロ長調 Op.99 D898

2015

12.13 SUN

14:00開演 ■入場無料 鈴木鎮一記念館 展示ホール (定員80名)



東 誠三 (ピアノ)

1962年生まれ。東京音楽大学付属高校から東京音楽大学に進み、井口愛子、中島和彦、野島稔、片岡ハルコの各氏に師事。第52回日本音楽コンクール第1位。その後フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。日本国際、モントリオール、カサドシュなど、数多くの国際コンクールに入賞。これまでに、ヨーロッパ、北米などでリサイタル、オーケストラと共演し、国内ではN響をはじめ、各オーケストラにソリストとして招かれ、好評を博す。98年第24回シヨパン協会賞受賞。室内楽にも強い意欲を示し、ポア・ヴェール・トリオでの活動をはじめ、幅広い奏者から大きな信頼を寄せられている。CDも多数発売され、近年リリースされている「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第1集～第8集」は、レコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選ばれるなど、いずれも高い評価を受けている。

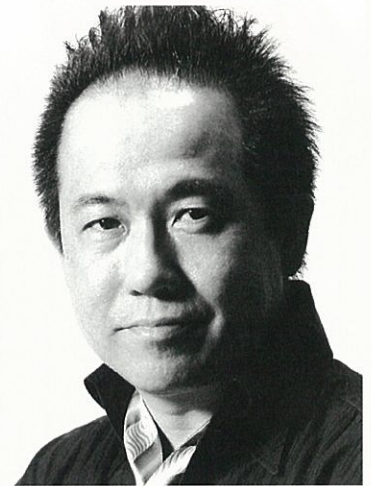
現在、東京芸術大学准教授を務めるほか、東京音楽大学、国際スズキメソード音楽院で後進の指導も行っている。

三浦 章宏 (ヴァイオリン)

4歳より鈴木メソードでヴァイオリンを始め中嶋美子氏に師事。筑波大学在学中より徳永二男氏に師事し、ヴァイオリンの研鑽を積む。1984年同大学卒業後、翌年NHK交響楽団に入団。第25回ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール第2位入賞(1位なし)他受賞多数。1989年アフィニス文化財団の奨学生として、ドイツ・ミュンヘンへ留学、エルネ・セバステリアン氏に師事。

1999年より東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。2007年にはヴェーラ弦楽四重奏団を結成、12月に横浜みなとみらいホールで結成コンサートを行った。2011年6月には東京オペラシティ コンサートホールにおいて、バッハ、ベートーヴェン、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を一夜で演奏するリサイタルを開催、2012年6月にJ.S.バッハ無伴奏ソナタ・パルティータ全曲演奏会、2013年4月にピアニスト清水和音氏とブラームス・ソナタ全曲リサイタルを行うなど、多彩で精力的な演奏活動を展開している。

国立音楽大学や洗足学園音楽大学で後進の指導にもあたっている。



野村朋亨 (チェロ)

5歳より才能教育研究会でチェロを学ぶ。

7歳から15歳までの間、スズキメソード海外派遣演奏団のメンバーに選ばれ、ニューヨーク カーネギーホール等アメリカ、ヨーロッパ各地で演奏する。

1977年17歳よりフランス国立パリ高等音楽院に留学、アンドレ・ナヴァラの薫陶を受ける。在学中、ピアノトリオでラジオフランスに出演。同校チェロ科、室内学科を共にプルミエール・プリを得て1981年卒業、帰国。

1981年～1993年、才能教育研究会チェロ教室で指導に務める。

1993年以降、本格的に演奏活動を開始。恩師譲りの優雅で力強く情熱的な演奏には定評があり、これまでにドヴォルザーク、シューマン等チェロの主要な協奏曲を数多く演奏。また、国内各地でのリサイタルや室内楽、オーケストラの首席客演も多数つとめるなど幅広く演奏活動を展開し、各々好評を得ている。

1993年～2013年、大阪交響楽団特別首席。

2012年、2013年、高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ、講師。チェロをアンドレ・ナヴァラ、フィリップ・ミュラー、マダム＝ニコル・デノー、ルドルフ・マンダルカ、佐藤良雄、野村武二の各氏に、室内楽をジャック・パレナン、ジェラルド・ジャリ、イヴォンヌ・ロリオの各氏に、他にウィリアム・プリムローズ、鈴木鎮一の各氏に演奏法を師事。

現在、くらしき作陽大学、大学院非常勤講師 長岡京室内アンサンブル、メンバー。